

真田

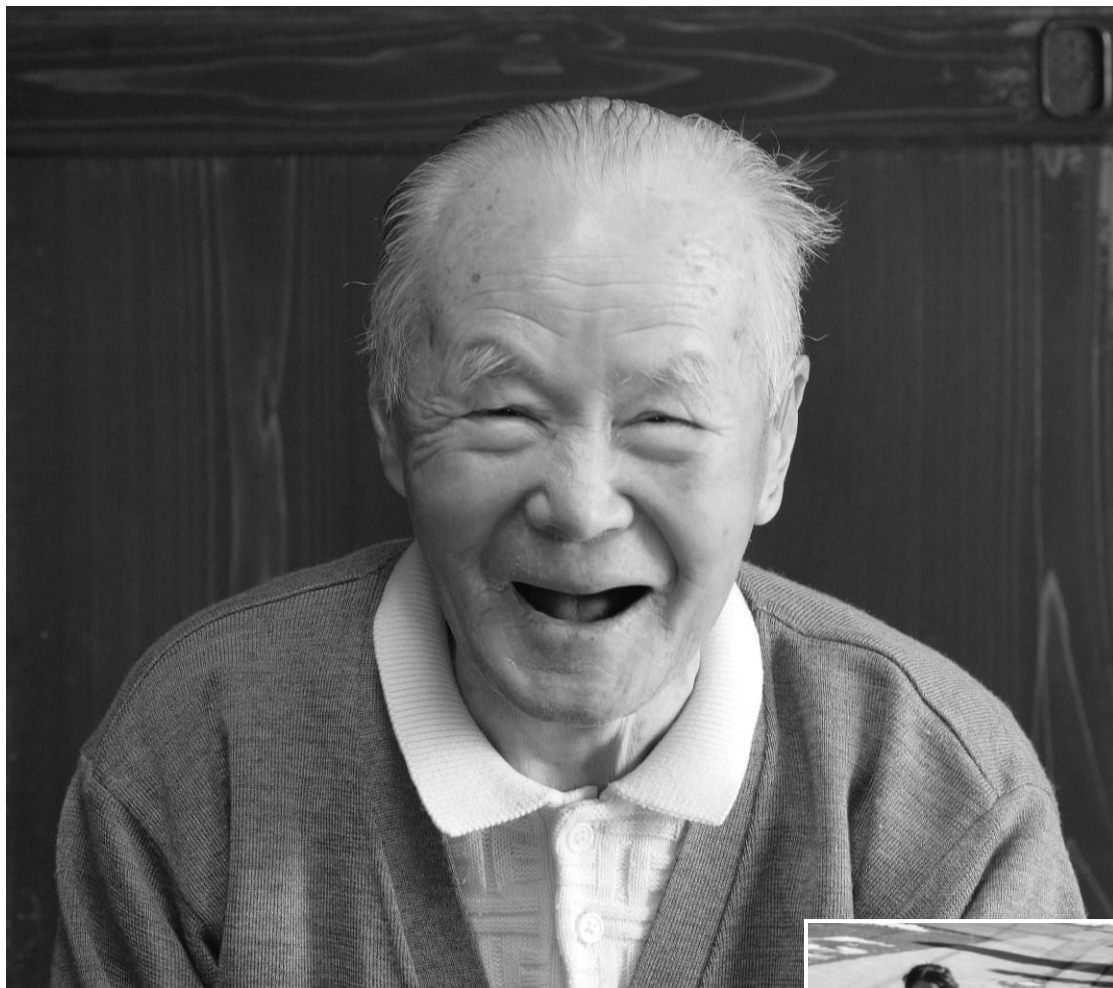
真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のための月刊フリーペーパー

いきいき♪

生き生き ふるさと通信

第4号 2010年6月15日発行【真田地域に全戸配布】

撮影 スタジオセブン佐藤和雄



左列上から、
佐藤蓮くん親子【戸沢】
三井翔太くん親子【中組】
片上創太くん親子【大畑】
齋藤京美ちゃん親子【荒井】



大きな写真で登場したのは、戸沢自治会にお住まいの柳沢 齋^{ひとし}さん（大正8年3月5日生まれの91歳）。わら馬作りの名人です。曾孫の長沢麗奈ちゃんが、齋さんの作ったわら馬を元気に引いています！

真田地区の子どもたち、新成人、還暦、100歳の方の写真を募集中！掲載は無料です。掲載希望の方は、巻末に記した編集部まで写真を送付いただくか、メール(kawaraban@ued.janis.or.jp)にデータを添付ください。



●認知症に対する正しい理解を

真田自治会(高齢化率 34.3%)では2010年1月、誰もが認知症を理解し、住み慣れた場所で安心して暮らせる地域を目指すため、全戸を対象に「認知症に対する意識調査」を行いました。

調査を通じて、民生児童委員の松井文雄さん(72歳)は、「認知症を正しく理解し、認知症の人を支えるための地域のネットワークづくりを進めたい」と話します。

●全戸に、認知症に対する意識調査

調査は、真田グループホーム運営推進会議のメンバーである松井文雄さん、松原進自治会長、坂口勇長寿会長を中心に進められました。

認知症についての理解度や物忘れと認知症の違い、利用できる介護保険サービスや地域でできる支援の必要性についてなど全部で15項目のアンケート用紙を真田自治会149全戸に配布。回収率は48.3%(72戸)でした。

「認知症に対する意識調査」集計結果

- 認知症について「分かる」「ある程度分かる」 95.9%
- 運転免許証更新時、75歳以上に義務の認知機能検査について「知っている」 83.3%
- 認知症の予防法を「知っている」 18.9%
- 認知症の人への接し方を「知っている」 26.4%
- 成年後見制度・日常生活自立支援事業を「知っている」 27.8%

●アンケートの総評

- 住み慣れた所で、安心して暮らせるにはどうしたらよいかについては、地域の方が認知症についての理解が必要である。
- 認知症の人とその家族の暮らしを、地域の方々が必要に応じて支えるために、また、認知症を正しく理解するためにも、サポーター養成講座を開きたい。
- 地域での理解や、見守りをする中で認知

症にみられる徘徊によって、行方不明となった時に、早期発見ができるように、ネットワークづくり(自治体、民生児童委員、福祉委員、長寿会、消防、警察等)が必要である。

- 高齢者の仲間づくりや生きがいづくりの場として毎月行っている「地域ふれあいいきいきサロン」を、認知症にならない・認知症を遅らせるための場として今後も続けていきたい。



真田自治会の「地域ふれあいいきいきサロン」は、今年6月で120回目を迎える

●認知症の講習会を6月に開催

真田自治会では、認知症サポーター養成講座を受けたいと回答した人が72.2%いたことを受け、今年6月16日から「認知症サポーター養成講座」を開講することになりました。最初は真田自治会の福祉委員を対象に実施し、以降、月に1回、地域の役職に付かれている方々に受講を推進していく予定とのこと。情報を共有することで地域のネットワークを構築し、見守り支援のできる地域づくりを目指します。

行ってきました！



今回の訪問先は

そえひ保育園のみどり隊 です

そえひ保育園では、春の野菜作りには「みどり隊」(長寿会の有志)にお世話になっています。畑の土作りから収穫後の片付けまで協力していただき、秋には収穫した野菜で、隊員の皆さんを招待してカレーパーティーやおでんパーティー、よもぎ団子作り、焼いも大会などを行います。

隊員の一人である岡嶋守一さんは、「牛に引かれて善光寺参りならぬ、孫に引かれて野菜作りだよ」と笑顔です。



みどり隊員の皆さん。右から、半田 俊一さん、岡嶋 守一さん、内海 八代枝さん、関 萬亀雄さん
「孫が申し込んでくれたんですよ」

12種類の野菜！

さあ、園児たちは何種類の野菜を植えるのでしょうか？
キュウリ、パプリカ(赤・黄)、スイカ、メロン、ピーマン、ししとう、丸なす、長なす、オクラ、落花生、ニンジン、いんげん。なんと12種類！！



大きくなーれ！



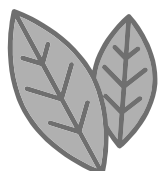
「水が大好きな野菜と雨だけでいい野菜や、葉っぱに水をかけないように水くれをしないといけない野菜があるんだよ」と、たくさんのことを教えてもらいながら頑張ったよ。
「大きくなーれ」

おいしい給食

「誰の二十日大根が一番大きい？」
「今日の給食に出してもらおうね」
給食の先生は採れた野菜を使って、いろんなメニューを考えておいしい料理を作ってくれます。「ありがとう」



工藤照子園長は、「みどり隊の皆さんは野菜作りだけでなく、礼儀も教えて下さいます。傍陽地区は、昔から子どもたちを地域で大切に育ててきた地区だと感じます。これからもたくさんの知恵を伝えていただき、次の世代へと受け継いで、地域に開かれた保育園にしていけたらと思います」と語ります。



高齢者の生活を支える総合相談窓口です！

真田地域包括支援センターへ、お気軽にご相談ください。

☎ (0268) 72-8055 有線 2080

上田市真田町長 7190 (総合福祉センター内 社会福祉協議会)



「住み慣れた地域で自分らしくいつまでも」 をみんなで考える会

参加無料

《2025年の地域包括ケアの実現を目指す》

と き 平成22年6月30日(水) 午後6時～8時

ところ 真田公民館(旧真田町文化会館) 第一会議室

内 容

- 事例紹介 「地域で支え合うこれからの日本型モデル」
高齢者総合福祉施設こぶし園(新潟県長岡市)
園長 小山 剛 氏
- 市議会議員を交えた意見交換会
「みんなが地域で支え合うためには何が必要なの?」



これからの日本、そして地域。いったいどうなるのでしょうか…?

2025年には高齢社会がピークを迎えます。その時、日本が豊かな高齢者社会を築いているのであれば、それは「希望」につながります。

まずその前に、地域の将来のこと、お金のこと、仕組みのこと、生活者の意識のこと、などについて、地域住民、行政、サービス事業者、医療・介護・福祉等の専門家、ボランティアなどが、それぞれの立場で考える機会(場所・時間・テーマ)を作り、自分のこととして「語る」ことが必要だと思います。

そこで、地域で支えあう実践をしている先進地域の事例を通して、これから地域に求められる「ひと・もの・かね・しくみ・アイデア」などを、真田地域の上田市市議会議員をお招きして皆さんとざっくばらんに話し合っていたきたいと思い、第1弾を企画しました。お誘い合わせのうえ、奮ってご参加ください!

申込先 「住み慣れた地域で自分らしくいつまでも」をみんなで考える会(担当:大野)
TEL:0268-72-2781 FAX:0268-61-4010 (事務局:アザレアンさなだ)

◇◇本原 表木にて分譲予定◇◇

本原小まで350m、静かな環境です!

※1区画約100坪の3区画を計画しています。

↓詳しいお問い合わせはこちらへ↓



カントリーハウス21

真田町本原 1967-33(担当:石井)

いきなりホットライン:080-5108-9701

宅地建物取引業:長野県知事(1)第5169号

CAFE & GALLERY

Suan

～茶庵～



日替りランチ 600円《コーヒー付 700円》数に限りがあります。

軽食(カレー・ピラフ等)やスイーツもご用意。

TEL (0268)72-8100 定休日・日曜日

11:00 ~ 17:00 (ラストオーダー16:30)

おらが **1番!**

真田に住む方々の“プチ自慢”を聞く ◆第6回◆

小林孝子さん（66歳・菅平自治会在住）をインタビュー!!!

私のところは「ホテル第一館」を経営している。菅平で一番に泊まりを始めたから第一館なんだって。私は、旧上田から菅平に嫁いで30数年になる。下（上田）で遊んでいたから上（菅平）で働きなさいと言われて嫁いで来たが、人生は一生遊ばせてくれませんか。

昭和24年に電気が通じた。我が家の2代目が一生懸命動いて実現した。3代目（夫）は保護司で、4代目は長野県スキー連盟の役員をした。そして、私が民生児童委員6年目。

私たち家族のことを周りの人は「人のためばかりしている」ってよく言う。でも、みんなの喜ぶ顔を見るのって、本当に幸福だよ。



投稿募集!

①「生活の知恵袋」「我が家のオキテ」など、

我が家に代々伝わるエコな習慣や、不思議な約束事までを編集部までお寄せください! 真田ならではの意外な生活習慣が発掘できるかも?!

②表紙を飾りませんか?

家族の記念に、暮らしの彩りに、是非あなたの写真をお寄せください。また、大きな写真に登場いただける方も大募集。スタジオセブンの佐藤和雄さんに撮影していただけるチャンスです!



「うちのグループの取り組みを紹介してほしい」「このお店を取材してほしい」「イベントを開くので、情報を載せてほしい」などの投稿も大歓迎。編集部一同、皆さまからの投稿をお待ちしています!

投稿の送り先

▼郵便の場合 〒386-2201 上田市真田町長 7141-1「真田生き生きふるさと通信」編集部宛

▼FAXの場合 FAX 0268-61-4010

▼E-mailの場合 E-mail kawaraban@ued.janis.or.jp

ニッセイ財団高齢社会先駆的事業「ハイブリット・ケア(地域分散型サテライトケア)の展開と新たな地域づくり」とは

社会福祉法人恵仁福祉協会(高齢者総合福祉施設アザレアさなだ)では、平成21年10月26日からニッセイ財団より助成金を受け、標記事業を始めています。子どもからお年寄りまで、また地域で商売や活動をしている人たち全員の“いいとこ取り”をして元気に暮らせる真田の郷にしようという活動です。この通信の発行もその一環です。

雨漏れ・塗替え・家の廻りの事、ご相談ください!!

地域の皆様に愛されて30年

(有)長野工商

上田市真田町傍陽岡保

電話 24-6551

全国防水工事業協会会員 上小広告美術塗装事業共同組合員
知事許可(般21)第016042号 一級防水・塗装技能士

広告募集中!(1枠3,150円税込)

犬と一緒に泊まれるペンション 「B & B エリザベス」

真田町本原 3001

TEL : 72-0002 FAX : 72-0003



つつじで有名な真田お屋敷公園のすぐ近くにあるペンションです。1000坪の広い敷地内には、4台のアメリカ製の戸建てトレーラーハウスと、バーベキューハウス、除草剤などを使用しないこだわりの草地「犬のお散歩広場」があるほか、犬が7匹、ガチョウ4羽、烏骨鶏6羽、チャボ4羽、猫2匹がにぎやかに生活しています。

B & Bとは、ベッド&ブレイクファストスタイルのことで、夕食は付いていません。夕食は、近くのスーパーで食材を買い込んでの夜のバーベキューがお勧め！

オーナーの伊藤攻（おさむ）さんご夫妻は、ザルツブルグを拠点にヨーロッパや北欧を1年半旅行して歩いた経験の持ち主。子どもがいない伊藤さん夫婦は、後継者を捜しています。

ハーブやバラなど、さまざまな植物が咲き誇る敷地内を歩くだけでリラックスできます。犬好きの皆さん、一度遊びに行ってみませんか？



読者の交差点

- ▼食べ物の写真や表紙などが、カラーだったらもっと素晴らしいと思います。
- ▼先日、真田で体育祭がありました。前号に載っていた「かりまるクン」がいましたよ！

編集後記 ●園児とみどり隊の皆さんを見ていると、祖父母と遊んだ幼いころを思い出しました。[村上陽一] ●春から初夏へ。山の木々が色濃くなってまいりました。季節感のある情報をお待ちしています。[大野幸子] ●トレーラーハウスに泊まって真田の郷を探索できる名所マップができたら素敵ですね。[田中文子] ●認知症サポーター養成講座を修了すると「オレンジリング」をもらえるそうです。たくさんの方が持っていたら心強いですよね。[田中晋]

発行元：「真田 生き生きふるさと通信」編集部

事務局：高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内

〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 TEL 0268-72-2781 FAX 0268-72-4702

E-mail kawaraban@ued.janis.or.jp

ホームページ[http://www.azarean.jp/Group1/Contents/0402_nissei_kouho.aspx/](http://www.azarean.jp/Group1/Contents/0402_nissei_kouho.aspx)

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。次号は2010年7月15日の発行です。